

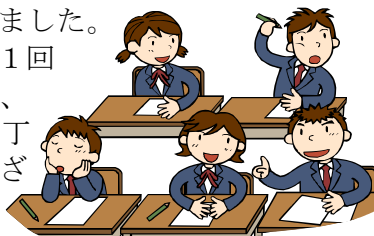
学校だより

第1回クラス委員会・PTA総会

4月26日は第1回クラス委員会、PTA総会が図書室で行われました。ご多用の中、ご参会いただきましてありがとうございました。

この日を迎えるまでに、木村前会長はじめ、旧役員の皆さまは、時間をかけて新役員に引き継ぎをされました。お世話になりました。

新役員の皆さまは、第1回クラス委員会の資料作り、PTA連絡網の作成など、丁寧な作業をありがとうございました。



また、新クラス委員の皆さまには、クラスの連絡網の作成に時間をかけていただきました。また、5月3日から始まる学級懇談会では、司会進行や記録をお願いするようになると思います。

最後に、旧クラス委員の皆さまには、クラスの保護者へ補習校行事の参加呼びかけやご自身の積極的な行事参加、担任との密な連絡に対しまして厚くお礼申し上げます。

引き続き、旧役員、旧クラス委員さんには、これまでの経験を学級や補習校全体の行事のために生かし、ご協力いただけますようお願いいたします。

総会では、運営委員川瀬副委員長から、教職員への日頃のご労苦に対するお礼、補習校の園児・児童・生徒の学習環境の更なる充実、改善をめざすこと、そのために、保護者の皆さんから意見や要望があれば、随時、運営委員に提示してほしいという内容のあいさつがありました。続いて、運営委員の担当業務を含む自己紹介があり、森島副委員長から、運営状況（財務構造：2008年度予算）についての説明がありました。

学校長から、4点話をしました。

まず、「現状と生活について」では、345名の園児・児童・生徒数でスタートし、幼稚園月組が新設されたことを話しました。永住者と帰国者の割合は、永住者22%、帰国者78%で、昨年より若干帰国者の割合が増えています。永住者、帰国者にかかわらず、一人ひとり学習課題が異なります。課題を解決しながら、補習校で学んでいる仲間意識をいつま

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

14925 Memorial Drive, Bldg A, Suite 130, Houston, Texas 77079

Tel. 281-493-1512 / Fax. 281-531-6730 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@airmail.net Home Page: www.jeihouston.org

でも持ち続けてほしいと願っています。

私が平成18年4月に赴任して以来、園児・児童・生徒数が一番少なかった平成18年6月末、7月に比べると70~80人増えました。より活気が出て嬉しい限りです。

余談ではありますが、4月に入って、やっと使用教室（教室配置）が決定したものの、4月5日の入園入学式・始業式の、何と前日に教室配置が、急遽、変更になるということがありました。何が起るかわからないものですね。できる限り同じ学年を近くにして、同じ学年で活動しやすいような配置にしてほしいことを依頼したものの、使用できる教室に限りがあるため、人数増はとても嬉しいのですが、使用できる教室がなくなってきているという新たな課題も出てきました。

話を戻します。4月以降、借用校舎の管理・警備担当から子どもたちの休み時間の過ごし方などについて厳しい指摘がありました。チャック署長やデビーさんが思う補習校の子どもたちの生活像と、私たち教職員の思いとは大きな差があることがわかりました。この意識の違いがあることを認識して、子どもたちに対応していこうと、私たち教職員が共通理解していることを保護者の皆さんに話をしました。

次に、「学習について」では、子どもたちが、日本で体験入学した際に、日本の学校教育に適應できる力がついていること、帰国した際に、日常生活も含めすぐに適應できることを理想とし、より一層の基礎基本の重視について話しました。

各教科、各単元には、何を教えなければならないのかという指導の重点項目があります。これを押さえて指導することが子どもたちの各教科の基礎基本の定着に結びつきます。教員は、自分の判断で教えればいいのではありません。教えるためには、子どもたちの力を知り、指導書に沿って、どのように教えていくのか、という“教材研究”をしっかりと行わなければなりません。このようなことを思いながら、話をしました。

先週は、日本国内で教育関係の大きなニュースが

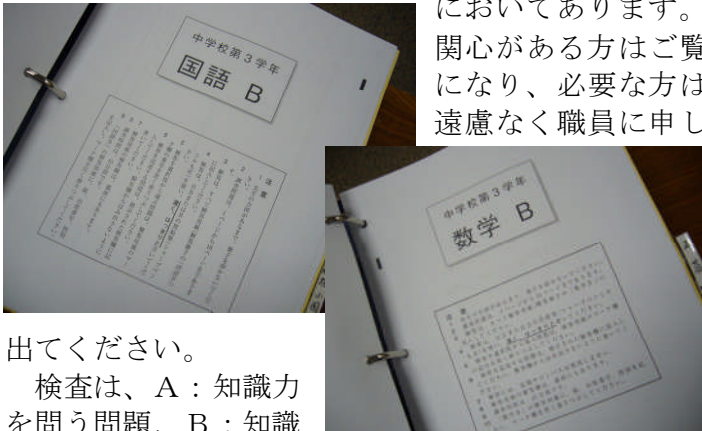


2つありましたので紹介しました。

一つは、小学校は2011年から、中学校は2012から教科書が全面改定になり、来年の教科書から、学力向上を急ぐとともに新学習指導要領をスムーズに移行させるために、学習内容が増えるというニュースです。補習校に関係してくる算数・数学、理科では、日本では授業時間数が増えることで、増えた学習内容を教える時間が確保できますが、補習校では学習する時間が限られていますので、どのように学習時間を確保していくかが課題となります。

もう一つは、4月22日に、小学校6年生と中学校3年生を対象に、全国学力検査が行われたというニュースです。実施された検査用紙の複製を職員室においてあります。

関心がある方はご覧になり、必要な方は遠慮なく職員に申し



出てください。

検査は、A：知識力を問う問題、B：知識活用力を問う問題からなり、学力を問う問題だけではなく、学習・生活環境のアンケート調査も行っています。参考までに、文部科学省のウェブサイトから、国語、算数・数学AB両検査、学習・生活環境のアンケート調査ともに見ることができ、ダウンロードもできるようになっています。

そして、「時間割の変更について」が3点目になります。今年から1時間目の始業を10分遅らせ、9時5分から開始としました。8時55分から9時5分までの10分間を学級活動として、子どもたちが宿題を提出したり、廊下に作品を貼ったり、担任の先生が話をしたり、一日の生活について諸注意をしたりする時間を確保しました。この10分があることで、1時間目がきちんと45分間とることができるようになりました。

最後に、「行事予定について」です。8月末の現地校の始まりに合わせて、9月以降の行事を昨年度より2～3週遅らせました。また、12月に開催していた群読大会を年度の最終日の午前中に行い、午後から卒園卒業式、修了式を行う予定です。

以上、4点を簡単に挨拶を兼ねて話をいたしました。今村会長はじめ新役員の皆さま、クラス委員の皆さま、1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

授業参観・学級懇談会が始まりました

本日は小2、小3A、小4、高等部の授業参観と学級懇談会が行われました。授業では、子どもたちの活動の様子を十分にご覧いただけましたでしょうか。また、学級懇談会では、担任が描く子どもたちへの思いが伝わったでしょうか。

担任は、学年や学部の目標と学級の目標、国語や算数・数学など教科学習の重点と学級活動や生徒指導などの教科外学習の重点、保護者との連携をどのように密にとっていくかなど、大切な1時間の授業に関わりのある様々な内容について綿密な計画を立てています。

行事になっている授業参観以外に、いつでも子どもたちの様子を見ていただけるよう、教室を開放しています。授業参観希望用紙が職員室と三水会センターに用意されていますので、ご記入の上、授業を参観してください。

授業参観希望用紙			
日時	年	月	日 校時
学年	年	組	
参観者氏名			
児童生徒氏名			

10日、17日は、帰りの学級活動終了が午後2時55分になっています。学級懇談会があるクラスは、子どもたちがカフェテリアで自習をしています。懇談会終了後、すぐにお子様を迎えに行ってください。

◆パトロール当番予定表 5月10日◆

～よろしくお願ひします～

学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	小4	18 我妻 航汰
2		19 伊藤 雅来
3		20 矢部 江理
4		21 かべー みどり
5		22 野口 愛実
6		23 村上 弘樹
★PM1リーダー		24 佐野 大輔
2		25 白 昇
3		26 田口 葉
4		27 秋山 陽
5		28 三村 弥久歩
6		29 西村 有梨沙

<転入>

加地紫苑さん(小6B) ようこそ、補習校へ。わからないことや気になることがあったら、クラスの仲間や担任の先生に尋ねてくださいね。優しく教えてくれますよ。一緒に楽しく勉強していきましょう。